



セミナー会場

9024

西武ホールディングス

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。執行役員 経営企画本部 IR部長
中川 義秀 様

～でかける人を、ほほえむ人へ。～

西武グループの概要

● 西武グループの歩み

- ・1912年：武蔵野鉄道設立。西武鉄道の鉄道事業、ホテル・レジャー事業、不動産事業を展開
- ・2006年2月：西武ホールディングス設立、「財務体質の強化」と「収益性の向上」をテーマに、経営改革を断行
- ・2014年4月：東京証券取引所市場第一部上場
- ・2016年7月：東京ガーデンテラス紀尾井町開業
- ・2017年3月、(株)横浜アリーナを連結子会社化
- ・2017年7月、オーストラリア本社のホテル運営会社 StayWell Hospitality Group Pty Ltdを事業取得

● 西武グループ全79社の展開する事業

- ・2018年3月期の営業収益が大きかった順に、ホテル・レジャー事業、都市交通・沿線事業、建設事業、不動産事業、その他事業(西武ライオンズ、他)、ハワイ事業を展開

強みと戦略(2/2)

● ホテル・レジャー事業

- ・国内最大規模の売上を誇るプリンスホテルチェーン
- ・積極的リニューアル投資、新規ホテル開業の成果で、2013年3月期からの5年間で平均販売室料約35%増、客室稼働率約8%増を達成。同事業の収益性大きく向上。大規模宴会場を多数保有し、ビジネスイベントにも強み
- ・今後は、宿泊特化型ホテル、会員制ホテル事業へ進出等、「新規事業分野の創出」を本格化

● 不動産事業

- ・グループ全体で全国に豊富な資産を保有
- ・とりわけ東京23区内に約47万㎡と、大手デベロッパーを上回る規模の不動産を保有
- ・西武鉄道沿線中心に賃貸可能面積増加へ
- ・2016年7月に西武グループ飛躍のシンボル「東京ガーデンテラス紀尾井町」が全面開業
- ・高輪・品川エリアで、当社はエリア最大級地権者、大規模な複合施設を鋭意検討中

強みと戦略(1/2)

● 都市交通・沿線事業

- ・東京都、埼玉県において12路線92駅を運営
- ・日本有数のターミナル「池袋」「新宿」へ乗り入れ
- ・堅調な雇用情勢と沿線人口を背景に、輸送人口は増加傾向で、長期的かつ安定的な運輸収入

● 都市交通・沿線事業の様々な需要喚起施策

- ・新型車両投入。2017年新型通勤車両「40000系」、2019年3月期25年ぶり新型特急車両導入の予定
- ・「池袋」「所沢」駅周辺開発計画。池袋で、旧本社ビル建て替え、2019年春池袋エリアでトップクラスのオフィスビル「ダイヤゲート池袋」誕生へ。所沢で、東口駅ビル開業、西口の西武鉄道車両工場跡地開発も検討
- ・沿線の観光地「秩父」「川越」「飯能」への誘客
- ・2017年西武秩父駅前に複合温泉施設オープン
- ・メットライフドームエリア改修、ボールパーク化推進
- ・プロ野球チーム、埼玉西武ライオンズの育成強化

中期経営計画・株主還元/優待

● 中期経営計画

- ・2021年3月期計画として、営業収益5,927億円、営業利益723億円、償却前営業利益(EBITDA)1,311億円を設定

● 株主還元方針

- ・成長に資する投資を優先し、株主価値を極大化
- ・配当性向15%を目安に安定的・継続的に実施
- ・設備投資の状況、財務体質のバランスを鑑みながら更なる株主還元の充実へ

● 株主優待制度

- ・株主優待は年2回実施
- ・300株以上ご所有の株主様：
電車とバスが利用可能な「株主優待乗車証」
西武グループ施設で使用可能な「株主優待券」
- ・1,000株以上ご所有の株主様：
埼玉西武ライオンズ主催公式戦内野指定席引換券